

私には、小さいころからの夢があります。それは「薬剤師」になることです。

私は、人の役に立つ仕事をしたと考えています。私は、アレルギーがあつて、毎日薬を飲んでいますが、薬がないとのがかゆくなったりくしゃみが出たり、大変な思いをします。でも、毎日同じ薬を飲むのは、あきてしまいます。小さい子からお年寄りまで薬に飲める薬があればいいなと思います。私が薬局に行くと薬剤師さんが、分かりやすく親切に薬のことを教えてくれるので、安心して薬を飲むことができます。私は病気の人や元気になり笑顔を取りもどせるように、優しく薬の説明をしたり薬の相談に乗ってあげたりしたいです。

これから私は、夢に向かって一生懸命勉強をし、人を思いやる気持ちも大切にしていきたいです。

夢に向かって



さいとうみゆう
斎藤 美夢
平成 20 年 10 月生
阿仁合小 5 年

世の中には、困っている人がたくさんいます。病気やけがで困っている人、みんなと上手く話したり遊んだりできない人など、さまざまな人たちがいます。そんな中でも一生懸命努力している人がいます。例えば、リハビリや手術をして、苦しいことでもがんばって乗りこえようとしている人たちがたくさんいます。

なぜ苦しいことでも精いっぱいがんばるのでしょうか。私は、みんなといっぱい遊んだり、会話したり、さまざまなことをしたいからがんばるんだと考えています。私は、人を助ける仕事がしたいです。その理由は、これらの人を幸せにしたいからです。今、私はリハビリの先生になりたいと思っています。この目標に向かってたくさん勉強して、世の中のみんなが幸せになれるように、自分のできる努力をしていきたいです。

みんなを幸せに



さとう ここな
佐藤 瑚々渚
平成 20 年 6 月生
鷹巣中央小 5 年

私は保育園のころから、花火大会などで警察官が警備をしている様子を見ていました。小さいころは警察官も本当は、花火を見たいだろうなと思っていました。私は、今でもそう感じる時があります。でも今は、警察官はみんなの安全や命を守るためにがんばってくれているのだということを知っています。ときには、命がけで人々を守ることもあります。そんな強い心がかっこいいと思ったから、私は将来、警察官になりたいと思いました。

警察官になるためには、強い体が必要です。体育の授業で積極的にいろいろな運動をして、体を強くしてきたみたいです。それに、給食を残さず食べることで、じょうぶな体を作りたいです。私の心を強くするには、苦手を発表でも積極的にがんばり、自信をもって取り組もうと思います。

みんなを助ける警察官



さいとうゆづき
斎藤 佑月
平成 20 年 10 月生
合川小 5 年

ぼくはお米が好きです。ぼくのおじいさんとおばあさんの家は農家で時々お手伝いをしていました。5年生では、総合の学習で米づくり体験をします。家では機械を使って作業をしています。自分のお手で苗植えや稲刈りをするのは初めてでした。どろの中に足を入れるとなかなかぬけないし、腰を曲げて長い時間作業するのはとても大変です。65人で2時間近くかかりました。機械を使えば数十分で終わるけど、大勢でも1つ1つ手で行うと何時間もかかります。昔の人達の苦労を知り、お米を残すと怒られる意味がよく分かりました。また、田んぼの工夫にも気付きました。田植機で印を付けたり、3本ずつ苗をまとめて植えたりして、育ちやすく、作業しやすくなっています。自分で作り食べる楽しさを知り、将来農業もいかなと思っています。

秋田の農業を元気に



さとうそうすけ
佐藤 聡介
平成 20 年 7 月生
鷹巣小 5 年



新春
特別企画

輝け令和 僕らの時代！

ねずみ
～子年生まれの子たちの夢～

ぼくの夢は、獣医になることです。理由は、自分でも犬を飼っていて動物が好きだからです。また、けがや病気で苦しんでいる動物を見るとかわいそうで何か手助けをしたいと強く思えるからです。

2学期に、学校で大森山動物園に行きました。飼育員の人たちが動物たちにできるだけ長生きしてほしいと、エサのやり方を工夫したり、園内に動物病院を作ったりして努力をされていました。人間と同じようにたった1つの命を守る仕事は、とても大切で大変なのだと感じました。

ぼくも、これから算数や理科の勉強をがんばり力をつけていきたいと思っています。自分の考えを積極的に発表し、友達や植物、周りの人とやさしく関わることを目標にして夢に近づいていきたいです。

命を守る獣医に



くどうたいき
工藤 大樹
平成 20 年 10 月生
米内沢小 5 年

ぼくの夢は、ゲームを作る会社に入ることです。なぜかというとゲームが好きで、その楽しさを他の人にも伝えたいからです。

初めてゲームをしたときのドキドキ・ワクワクを今でも覚えています。でも、ぼくがゲームをするときに1番楽しいのは、みんなで話しながら過ごすことです。もちろんゲームそのものも楽しいけれど、1つのゲームをきっかけにみんなが集まる楽しさはそれ以上です。ぼくにとっては友達と仲良くなるための場所の1つです。

最近、ゲームに関わる悪いこともニュースに出ています。でも、ぼくはみんなを笑顔にするゲームの良所・楽しい所を知ってもらいたいです。だから、ぼくもこの夢をかなえるために、毎日の勉強など、今できること・やらなければならないことをがんばっていききたいと思います。

夢をかなえるために



おおかわ りん
大川 凛
平成 20 年 7 月生
鷹巣南小 5 年